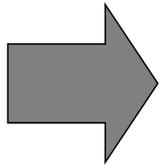
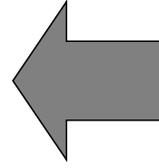


学校教育目標
「自ら学び、心豊かでたくましい南っ子」の育成

- 教育基本法
- 県教育の戦略的なビジョン
- 県学校教育指導の指針
- 豊かな人間関係推進事業
- 県人権施策基本指針
- 佐倉市教育大綱
- 佐倉市教育施策



「かしこく、やさしく、たくましく」をスローガンとして、学校教育目標を具現化し、「生きる力」（確かな学力・豊かな心・健やかな体）を育む教育を推進します。子ども達が生き生きと活動し、「自分が好き、友達が好き、南志津小が好き」と笑顔で言える、そんな学校づくりを目指します。



- 児童の実態
- 学校・地域の実態
- 保護者の願い
- 地域の願い
- 運営委員会・スクールガード・地域との協働

目指す児童像	
	かしこく、やさしく、たくましく
みなみしづ	(1) み んなど な かよく助け合う子（優気）
	(2) み ずからがんばるたくましい子（元気）
	(3) し っかり考え勉強する子（根気）

目指す学校像
自分が好き、友達が好き、南志津小が好き
(1) いじめのない笑顔あふれるあいさつと歌声がひびく明るい学校
(2) 子どもにとって安全安心できれいな学校
(3) 子どもや保護者、地域から信頼される学校

目指す教職員像
チーム南小
(1) 子どもを愛し、一人一人を大切にする教職員
(2) 使命と責任を自覚し、熱意と向上心を持って、研鑽に努める教職員
(3) 子ども、保護者、地域住民、同僚から信頼される教職員

今年度の経営の視点

- ◆ 「不易と流行」を踏まえた特色ある教育課程編成と実施のための評価・改善に努める。
- ◆ 個を伸ばす学級経営や授業実践を通して、児童の自主性・自律性を育てる教育の推進に努める。
- ◆ 組織的な学校運営と職員個々の熱意・創意・誠意ある教科指導、学級経営に努める。
- ◆ 教育環境の整備・充実を図り、安全安心できれいな学校づくりに努める。
- ◆ 学校運営委員会の機能を生かすとともに、保護者や地域と連携協力して、開かれた学校づくりの推進に努める。

学校教育目標具現化のための指導の重点・努力点

みんなとなかよく 助け合う子（優気）	みずからがんばる たくましい子（元気）	しっかり考え 勉強する子（根気）
1 豊かな人間関係を育む活動の促進 (1) あいさつ運動の推進・縦割り活動や地域との交流の充実 (2) 道徳授業の充実と評価の改善（保護者への授業公開） (3) 人権教育の充実（オンリーワン集会の設定） 2 協力・協調の心を育てる活動の充実 (1) 様々な活動を通し、進んで協力する態度の育成 (2) 話し合い活動の充実 ・共遊の時間の有効活用 3 いじめの防止・早期発見・早期対応 (1) いじめ対策会議の実施 ・生徒指導部会（毎週月曜） (2) 教育相談月間の設定 ・児童アンケートの実施（毎月） (3) 心の相談員やSSW及びSC、保護者との連携	1 基本的生活習慣の向上 (1) 学校や学習のきまりの徹底 ・生活目標の具現化 2 安全指導の充実 (1) 交通安全指導の充実・有事の際の判断と対処能力の育成 3 体力を高めるための指導の充実 (1) 体育授業の工夫と充実 ・業間活動の有効活用 4 健康を保持増進するための指導の充実 (1) 食育の推進・保健指導の充実・配慮を要する児童の対応 5 勤労体験活動の推進 (1) 黙働の推進 ・体験活動の充実 ・職場見学の実施 (2) キャリア教育の充実	1 確かな基礎学力の向上 (1) 学習規律の徹底・昼の読書活動の励行 (2) 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業改善 (3) 1モジュールを活かしたドリルタイムの充実 (4) 少人数指導の充実・家庭学習の習慣化 2 研究・研修の充実を図り教職員の資質の向上 (1) 授業力アップの層別研修を充実 ・言語環境の充実 (2) 「食育」の指導の充実 3 個のニーズに応じた指導法の改善 (1) 総合的な特別支援体制の確立（インクルーシブ教育システムの構築）

学校の研究テーマ	一人ひとりが自分の考えを持ち、表現できる児童の育成 ～国語科の「書く力」を育む指導を通して～（令和5年度）	開かれた学校づくり	・学校運営委員会、保護者、地域との連携を密にした教育活動の推進 ・積極的に情報を発信し、学校評価をもとにした学校運営の改善
-----------------	--	------------------	--